

議会だより八女

2026

2

No.191

Yame

笑顔あふれる未来へ、一歩ずつ



P2 : 一般質問

P10: 定例会

P16: 市民と議会の意見交換会

P18: 委員会からの活動報告

P20: まちの声(インタビュー)



一般質問

一般質問ってなに？

一般質問は、議員が市政のさまざまな課題や問題点について、質問を行い、説明や報告を求めます。そうすることで、市の方針や取り組みを市民に明らかにします。

※一般質問の記事は、議員本人が原稿を作成しています。



過去の一般質問はこちらからご覧ください。

12月定例会 質問者・質問事項一覧

田中 栄一 議員 (P3)

- ①空き家対策について
- ②行政区再編について

森 茂生 議員 (P3)

- ①個人情報保護について
- ②みどりの食料システム法について

原田 英雄 議員 (P4)

- ①有害鳥獣対策の取り組み強化について
- ②今後の公立八女総合病院の在り方について
市の考えは
- ③防災安全対策について
- ④地域資源を活用した過疎対策の取り組みについて
- ⑤少子化時代に対応した目指すべき学校の在り方について
- ⑥簗原市政1年を経過しての総括と今後について

古賀 邦彦 議員 (P4)

- ①災害対策について
- ②市民生活を守る施策について
- ③教育行政について

三角 真弓 議員 (P5)

- ①人口減少に伴う将来の八女市の財政の基盤づくりは
- ②災害に伴う市民の安心安全な地域づくりについて

高山 正信 議員 (P5)

- ①民生委員・児童委員への活動支援について
- ②八女市の農業のあり方について

久間 寿紀 議員 (P6)

- ①八女旧町村地域の経済対策について
- ②市役所の機能について

坂本 治郎 議員 (P6)

- ①学校給食について
- ②米の価格の値上がりについて

牛島 孝之 議員 (P7)

- ①八女市の教育問題について
- ②行政区の再編について
- ③八女市の機構改革について
- ④企業誘致と農林業について八女市の考えは

石橋 義博 議員 (P7)

- ①八女市の経済対策について

水町 典子 議員 (P8)

- ①妊産婦とこどもに向けた各種事業の現状と課題について
- ②高齢者福祉について
- ③スポーツ振興によるまちづくりについて

高橋 信広 議員 (P8)

- ①人口減少対策について
- ②交通弱者支援策について
- ③ESG評価について

花下 主茂 議員 (P9)

- ①青少年の深夜徘徊・危険走行への対策について
- ②eスポーツを活用したインクルーシブな地域づくりに向けて
- ③一般国道3号広川八女バイパス事業について

空き家対策は喫緊の課題である 実態把握と利活用をどう進めるのか

市長

庁内に「空家等対策推進連携会議(※)」を設置
空き家対策の強化を図る

映像配信
サイト



田
中
栄
一
た
な
か
え
い
いち

議員 空き家の実態調査はどうされているか。
課長 平成28年度に全域調査後、行政区長や近隣住民の情報、所有者の相談、職員の巡視により随時把握に努めている。
議員 実態把握に国勢調査や水道、電気、ガス事業者からの情報を活用しているかどうか。
市長 ご指摘の方法や新しい技術の活用など、議論していきたい。



空き家は早めに利活用しましょう

市長 経済対策やインフラ整備を含む総合的な対応が必要である。
議員 市が空き家を借りてリフォーム後に賃貸する政策ができないか。
市長 そういった政策にもしっかりと取り組んでいきたい。
行政区再編について
議員 統合だけでは、限界集落の先送りではないか。
市長 まちづくりの単位が大きくなり、活動が行いやすくなると考える。
議員 統合により市の交付金が大きく減少し、統合の機運がすばむ。積算方式を見直すべきでは。
市長 統合後も行政区としての様々な活動にしっかりと取り組んでいただけるよう、補助金の在り方についても再編の議論と併せ行っていきたい。

※空家等対策推進連携会議
関係部署の部課長及び支所長
で構成。情報共有や協議により
空き家対策に取り組む組織
で令和7年12月1日に設置。

有機農法の推進や普及に向けた 取り組みは

市長

国際的情勢や輸出拡大のためにも、促進
する

映像配信
サイト



森
茂
生
も
り
し
げ
お

議員 個人情報保護について
戸籍謄本等を交付すると
きに、同名同姓で別人の
戸籍を誤って交付する事
案が起きている。八女市
における対策は。
課長 請求に來られた方
と一緒に、「この戸籍で
間違いないですね」と確
認している。

議員 千葉県船橋市にお
いて、市民課の非常勤職
員が60万人分の住民基本
台帳や納税者情報を閲覧
できる職務権限があり、
この情報を1件あたり数
千円から数万円で探偵業
者に売るといふ事件があ
る。

市長 本人以外の第三者
に住民票等を交付した際
に、本人へ通知をする本
人通知制度がある。情報
漏えいの抑止力として、
非常に有効だと思うが、
導入する考えは。
市長 本人通知制度は、
未然に防止する有効な手
立てと考える。



箕原市政 1 年を経過し、今後の 政策をどのように考えているか

原 は
 田 だ
 英 ひ
 雄 お

映像配信
サイト



市長

中長期的な視点に立った八女市 2040 年
ビジョンの策定に取り組む

**地域資源を活用した過疎
 対策の取り組みについて**
議員 空き家や遊休農地、
 公営住宅等を資源として
 活用し、人口減少地域の
 対策に取り組むべきでは
 ないか。
市長 廃校などもあり、
 しっかり資源として機能
 させる仕組みが重要であ
 る。地域ごとの資源に応
 じた、きめ細かな対策を
 考えていく。
**少子化時代に対応した目
 指すべき学校の在り方
 ついて**
議員 公立小中学校も選
 ばれる時代になっている。
 八女市に魅力ある学校が
 あり、そこに子育て世代
 が居住し通わせたいとなる



ような環境をつくること
 が地域に学校を残す唯一
 の手段ではないか、今後
 の目指すべき学校の在り
 方をどのように考えてい
 るか。
教育長 児童生徒数の減
 少が著しい八女市東部に
 ついては、特に特色化が
 必要と考えており、現在
 構想を立てて各地域や学
 校長等と準備を進めてい
 る。
市長 教育内容を充実さ
 せるとともに、空き家や
 市営住宅の活用など、移
 住しやすい環境も整備で
 きるよう教育委員会と市
 長部局がしっかり連携し
 て取り組んでいく。

物価高騰から市民、事業者を守るため、 国・県の事業とともに市独自の支援策を

古 こ
 賀 が
 邦 くに
 彦 ひこ

映像配信
サイト



市長

国の支援メニューと合わせ、市独自の支援も含め
届くように行っていく

**避難所指定体育館への
 空調設置の検討状況は**
教育長 学校体育館は、
 教育条件の公平性、将来
 的な学校統合、義務教育
 学校化などを考慮し研究
 していく。八女市総合体
 育館は、耐震化も含め総
 合的な検討を行っている。
**指定避難所へのWi-Fi
 環境整備の考えは**
課長 施設の所管部署と
 協議を行うとともに、避
 難所開設が長期化する場
 合の対応等について、様
 々な施策を研究していく。
**福岡県の新地震想定をど
 う評価し対応していくか**
市長 水縄断層帯は揺れ
 の大きいエリアが縮少し



賑わいのある100円商店街

児童生徒が安心して学べる
 環境を備えなければなりま
 せん。その1つがトイレの
 改善です。

被害想定が縮小している。
 最大避難者数等を想定し
 た対策を行っていく。
**南中学校、筑南中学校
 統合に向けた施設環境整
 備について**
議員 PTA関係者から
 教室やトイレの不足が指
 摘されているが。
課長 校舎内において、
 必要な機能の確保ができ
 るか検討していく。
**小中学校トイレ改善（洋
 式化を含む）の次年度に
 向けた検討状況は**
課長 学校施設の老朽化
 に伴い教育環境の整備は
 必要であり、次年度より
 洋式化率向上を含めトイ
 レ改善を計画的に実施し
 ていく。

人口減少に伴う八女市の財政の 基盤づくりについての考えは

市長

人口減少が大きな課題であり、税収の確保等様々な方策を講じていく

映像配信
サイト



み
す
ま
ま
ゆ
み
三
角
真
弓

課長

補助金の効果等を

要ではないか。

に、補助金の見直しは必

要ではないか。

一概にはいえない。

この数字だけでは

読み取れると思うが。

市民の直近5年間

の課税標準額(※)は、

200万円以下の人約

70%を占めており、不納

欠損(※)は1億円を超

えており、市民の困窮が

検討していきたい。

地域の実情等を聞

きながら、必要な支援を

確立が必要ではないか。

行政区の予算にも大

きな差が出ており、行政

区間の共助づくりの体制

933世帯から最少の20

世帯まで大きく差があ

る。行政区の予算にも大

きな差が出ており、行政

区間の共助づくりの体制

確立が必要ではないか。

将来の人口減少

に対応する地域をつくる。

本市185の行政

区では、世帯数が最多の

933世帯から最少の20

世帯まで大きく差があ

る。行政区の予算にも大

きな差が出ており、行政

区間の共助づくりの体制

しっかり見極めていく。
災害に伴う市民の安心安
全な地域づくりは

激甚化する災害に

対して、顔なじみの隣組

単位での連携づくりの考

えは。

しっかりと共助

の取り組みを支援してい

く。

災害に対応するた

めの小型動力ポンプを各

町内へ整備するための補

助の増額が必要では

市長 当然充実させてい

かなければならない。



小型動力ポンプ

※課税標準額

所得金額から所得控除額を差

し引いたもので、個人市県民

税の所得割額を計算する上で

基準となる金額のこと。

※不納欠損

市の債権(税金、使用料など

のうち、徴収の見込みが立た

ない、または、法的な理由に

より徴収できなくなった場合

に、未収金から除外すること。

親元就農支援の強化をいち早く 進めるべきではないか

市長

現場の意見に耳を傾け、今後の支援策は
しっかり充実を図っていく

映像配信
サイト



た
か
や
ま
ま
さ
ひろ
の
ぶ
高
山
正
信

現行の親元就農支

援のどこに課題があると

認識しているのか。

認定農業者の親の

経営をそのまま継承され

る親元就農者のみが、国

や市の給付金がないこと

そのものが課題である。

鳥獣被害対策の強化につ

いて

現行の捕獲奨励金

はいつから据え置かれて

いるのか。

平成22年より据え

置きとなっている。

捕獲活動の正当な

評価として捕獲奨励金を

増額する考えは。

10年以上、見直さ

れていない現状、他自治

体の事例等も踏まえ、今
後の奨励金について見直
しを図っていく。

民生委員・児童委員への

活動支援について

現在の実費弁償額

が実態に見合っているか。

実態に見合ってい

ないとの声や燃料費・物

価の高騰といった状況は

認識し、理解している。

民生委員が活動しやすい

環境づくりに努める。

民生委員・児童委

員の実費弁償額を引き上

げて活動環境を改善でき

ないか。

来年度の予算編成

に向けて、適切な金額を

議論し、今後お示しする。



八女旧町村地域の経済対策の考えは

市長

各分野の産業振興に資する施策を実施して行くことは、本市の重要課題

映像配信
サイト

議員 雇用を生み出す企業誘致の取り組みは。
課長 本市は農振農用地が多く、農地の規制がハードルになっている。宅地や雑種地等の比較的小規模用地の需要に応える取り組みをしていく。
議員 その他に商工分野で、経済向上の取り組みは。
課長 地元の事業者や商店で利用できるプレミアム商品券他、デジタル技術を活用して情報発信力を強化する事業者の支援を行っていく。

FM八女が企画する旅する茶のくにツアー

- ・星野抹茶体験
 - ・八女中央大茶園とお茶体験
 - ・八女茶発祥の地、霊巖寺とお茶淹れ体験
 - ・八女ぼんぼりまつりと観梅会 八女の魅力定番ツアー
- 令和7年12月末時点

議員 旧町村の交流人口を増やす方策は。

課長 FM八女では、市内観光施設での体験や食事を組み込んだ周遊型ツアーを年に10回企画している。

議員 なるべく資金のからないう方策はないか。

市長 財政とのバランスを考えながら、職員と地域の方々と知恵を絞って新しい取り組みに応援を行っていく。

議員 本庁と支所の連携の問題についての考えは。

副市長 本庁の中に支所の状況が分かる部署が必要ではないかと考え、今回の機構改革に取り組みの現状の課題、今後の展望は。

市長 支所の役割はそもそも何なのかという共通認識を図ること、そして時代の流れに合わせて役割を考えていく必要がある。

学校給食の無償化や地産地消推進に関する市の考えは

市長

国の動向を踏まえ、給食の質の向上や地産地消に取り組む

映像配信
サイトさかもとじろう
坂本治郎

議員 市内学校給食の地産地消率は。
教育長 県産農林水産物利用状況調査によると、令和6年度は34・3%である。
議員 本市の学校給食の地産地消率は低い状況にあると思う。また、牛乳の一律提供により、飲み残しや廃棄が全国的な問題となっているが、本市の状況は。
教育長 本市では、牛乳を大量廃棄したとの報告はない。栄養バランスの確保や食育の観点から適切な消費につながるよう努める。

議員 牛乳の提供を希望制にするなど、柔軟な運用ができないか。
議員 牛乳アレルギー等であれば除去食を提供するが、牛乳が苦手という理由では食育の観点から除去しない。
議員 山間部のお米を優先的に、学校給食に活用する仕組みを検討できないか。
課長 本市の学校給食のお米はJAふくおか八女から購入したものであり、山間部のお米を含めて活用している。食材の安定供給が不可欠であるため、生産者や生産団体の今後の動向を注視する。



今回の機構改革の目的は何なのか

映像配信
サイト



うし
じま
たか
ゆき
牛
島
孝
之

市長

限られた経営資源を最大限に活用するための組織基盤を構築すること

議員 副市長は今後も1人体制でいくのか、急速な人口減少をしている八女東部地区のために、2人体制にして黒木支所に配置するべきでは。

市長 現在、副市長は1人であるが、市政運営に支障はなく、むしろ組織運営において迅速な意思決定が図られるなどの利点もあると分析している。

企業誘致と農林業について

議員 企業誘致のための用地確保はできているのか。

市長 新たな産業団地の用地確保は、喫緊の課題であり、現在、企業の立地動向調査を行い、誘地に向けた取り組みを進めている。



企業誘致のための用地確保を

議員 企業誘致に必要なある程度まとまった土地は、農振農用地であると思うが、それについての考えは。

課長 産業団地としての広さを求める場合、八女市においては農振農用地、それも第1種農地が含まれることになる。そのため、農振農用地の除外や農地の転用が必要になる。手続きも長期間が見込まれるので、企業を誘致しながら、地域未来投資促進法（※）や農産法の計画を立てて、これからの農地の規制を除外していくことになる。

※地域未来投資促進法
地域経済牽引事業の促進により地域の成長発展の基盤強化に関する法律。平成19年6月11日施行 経済産業省所管

商工観光農林業の連携した経済対策、国や県の施設誘致の考えは

映像配信
サイト



いし
ぼし
よし
ひろ
石
橋
義
博

市長

幅広い経済産業政策に取り組むとともに、国や県の施設の誘致も検討する

議員 市の財政状況は。

市長 現時点では健全性を維持しているが、今後、多額の歳出が見込まれ、予断を許さない。

議員 各課連携して、訪問客に幅広く八女の魅力をアピールし、訪問客の消費行動により市民や事業者の所得向上につなげては。

課長 各観光施設のPR強化に努め、八女の魅力を発信していきたい。また観光消費額は昨年度より増加しており、今後、観光農園を巡るツアーも企画している。

議員 竹林の活用については。

課長 補助金のみならず、各課と連携しながら、より高付加価値のある竹製品の研究などに取り組む。

議員 国や県の施設を誘致し、経済対策につなげる考えはないか。

市長 国や県からの情報収集に努めながら、市民や産業との相性が良いものについては、積極的に誘致に取り組む。

議員 本市には歴史的史跡や文化、温泉、景観など様々な魅力がある。この魅力を国内外からの訪問客につなげることで、市税の確保や市民の所得向上につながっていくものと考えている。さらなる知恵と汗を流して頂きたい。





映像配信
サイト



総合体育館への空調設置についての市の考えは

教育長 耐震化も含めて、総合的な検討を行っている

議員 全天候・ドーム型のスポーツ施設が今後、必要になるのでは。

市長 建設費等が高騰する中、難しい課題であるが、投資あつての成長だと考える。施設の空調設置や維持、発展についてしっかり議論していく。

議員 妊産婦や子どもに向けた各種事業について

議員 やめっこ未来応援金事業の今後の展開は。

課長 給付事業と併せて、妊産婦に寄り添うアウトリーチの相談支援を充実させる。

議員 産後ケア事業とは。

市長 産後1年間、産後うつ等のリスク軽減を目的に、心身のケアや育児に関する助言、相談支援を行う事業である。



議員 認知症カフェについて

議員 開催回数を増やせないのか。

課長 事業継続や開催回数の増加を促進するため実施団体のサポートを充実させる。

エンディングノートについて

議員 主旨や配布方法

課長 思い出や今後の希望、医療・介護の意向などを書き込める。本庁や支所等の窓口や住民講座等で配布している。

公的機関が終身サポート事業を実施し、入院時の身元保証や通院の送迎まで行う自治体が増加中。八女市でもぜひ導入を。

旧町村ごとの地域振興計画や支所機能の強化等東部地区の振興対策は

市長 地域ごとに異なる特性や課題を踏まえ、実情に合った施策方針が必要だ

映像配信
サイト



旧八女市・旧町村の人口推移表

※年度末現在	人口		出生者数		転入者・転出者	
	旧八女市	旧町村	旧八女市	旧町村	旧八女市	旧町村
平成27年度	37,671	28,214	329	122	-208	-236
平成28年度	37,564	27,463	308	112	-78	-249
平成29年度	37,651	26,671	333	118	61	-267
平成30年度	37,678	25,693	334	110	-163	-234
令和元年度	37,504	24,875	312	84	-142	-276
令和2年度	37,533	24,181	286	74	81	-236
令和3年度	37,641	23,647	336	72	109	-37
令和4年度	37,708	22,966	323	57	130	-17
令和5年度	37,720	22,115	288	69	74	-193
令和6年度	37,831	21,374	281	49	233	-173
合計			3,130	867	97	-1,918

※旧町村：上隅町、黒木町、立花町、矢部村、星野村（旧3町・2村）

議員 人口の偏在化対策が急務

議員 旧町村の事情や地域性を踏まえ、具体的な計画はどうするのか。

課長 今年度中策定の総合計画・後期基本計画との連動性、関連性を見据えて、地域ごとの振興対策に取り組む。

議員 中山間地対策として支所の権限や予算を含めた支所機能の強化は。

市長 合併したからこそその取り組みとして、多様性を持った1つの八女市をつくるには、地域のことは地域ではなく、本庁が司令塔機能を持つて全ての支所のことを含めて、見る体制が必要と考

えている。何よりも、本庁と支所の関係のあり方を議論することが大事である。

ESG（※）から「八女を世界に」

議員 ESGに関して、特産品の高付加価値戦略として着目したが、何を指そうとしているのか。

市長 本市が自治体として先行的に取り組み、次は経済界に活用してもらいたい。農業界をはじめ様々な分野に広がっていく中で、八女全体のブランド力向上につながる。

議員 ESG推進宣言自治体に対する評価を含めた市長の考えは。

市長 市全体がESGの観点から評価される時代を想定し、先手を打つことは大きな利益につながり、前向きに検討したい。

※ESG
環境、社会、ガバナンスの頭文字をとった言葉で、企業が成長するためには、3つの観点が必要という考え方。

青少年の非行防止へ、初期サインを捉えた居場所支援の体制は

教育長

小さな変化を見逃さず、学校・家庭・専門職で連携し初期対応に取り組む

映像配信
サイト



はな
した
ある
も
花
下
主
茂

議員 深夜徘徊や危険走行を行動だけで捉えるのではなく、背後にある孤立の連鎖をどう断ち切るか。
課長 複合的な要因があると認識しており、関係機関と連携して相談支援に取り組む。
議員 義務教育修了後の若者は特に支援が届きにくい層であり、居場所づくりが課題だと考えるが。
教育長 現実的には学校の制度の中では、そこまです手を尽くすことはできていないが、担任とのつながりや進路指導などの関わり合いを続けている。



※スクールボンド
人とのつながりや所属感が強いほど、問題行動や孤立が起きにくくなるという考え方を前提に、子どもが「学校に自分の居場所がある」「先生や友達とつながっている」と感じる気持ちの度合いを指す。

議員 eスポーツの活用について
議員 所管課はどこが中心となって、議論をされていくのか。
課長 担当課はなく、目的に合わせて対応している。
議員 教育分野として、どのように位置づけているか。
教育長 スクールボンド（※）として、大変有効なツールになり得る可能性があるかと認識している。
議員 今後はサロンや施設などで、小規模なモデル事業としての実施を検討してはどうか。
市長 市役所全体でeスポーツの可能性や意義を理解した上で、自治体主導のモデル事業ができるのであれば検討していきたい。

みんなで徹底しよう！「三ない運動」

1. 政治家は有権者に寄附を贈らない！
2. 有権者は政治家に寄附を求めない！
3. 政治家から有権者への寄附は受け取らない！

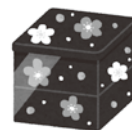
○お歳暮やお年賀



○秘書などが代理で出席する場合の
結婚祝・葬式の香典



○お祭りへの寄附や
差し入れ



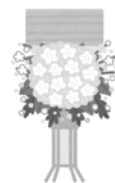
○入学祝・卒業祝



○地域の集会等の寸志や
飲食物の差し入れ



○葬式や落成式
開店祝の花輪等



選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて、一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。冠婚葬祭における贈答やお歳暮・お中元なども寄附になるので、注意してください。

年賀状や暑中見舞い状などの時候のあいさつを出すことも「答礼のための自筆によるもの」を除き、禁止されています。

12月定例会は、12月3日から12月19日までの17日間の会期で開催しました。市長から一般会計補正予算や条例の一部改正、指定管理者の指定、介護保険事業費特別会計補正予算などが提案され、いずれも原案どおり可決しました。 ※議案賛否表はP14～P15

予算審査

一般会計補正予算(第3号)及び(第4号)

補正予算を審査し、原案のとおり可決しました。
補正予算の主な内容は、次のとおりです。

12月 定例会

物価高騰支援事業(主な事業)

暮らしサポート商品券事業

補正額 6億3771万円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰が市民生活に深刻な影響を与えている現状を踏まえ、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、全市民に商品券を配布し、食料品を中心とした家計負担の軽減を図るとともに、市内事業者での消費を喚起し、地域経済の支えを行う。

- ◆事業内容：八女市内取扱店で使用可能な商品券を1人当たり1万円分配布
取扱店は、商工会議所及び商工会に加盟している会員(希望事業者)
並びに JA ふくおか八女



プレミアム商品券助成事業

補正額 7027万円

地域内消費を喚起し、地場中小小売店等の販売促進及び商店街の活性化を目的に、商工会議所並びに商工会が発行するプレミアム付商品券のプレミアム分を市助成金として交付することで、地元商店街等の活性化を図る。物価高騰の影響を受ける生活者や事業者を支援するために、令和7年度追加発行分を補正する。

物価高対応子育て応援手当給付事業

補正額 1億7610万円

特に物価高の影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援し、子どもたちの健やかな成長を応援する観点から、0歳から高校3年生年代までの子どもたちに1人当たり2万円を支給する。



有害鳥獣対策事業

補正額：520万円

イノシシなどの有害鳥獣による農林産物の被害を防止するために、電気柵またはワイヤーメッシュ柵の設置に要する経費の一部を補助するもので、要望申請件数が当初の見込みを上回ったため、増額の補正をする。また、豚熱に対応するために防疫資材購入費を計上する。

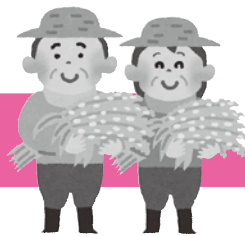
質疑のポイント



問 防疫資材購入費が補正計上されているが、埋設処分についての支援は考えられなかったのか。

答 豚熱の発生以来、八女猟友会・八女東部猟友会と情報交換を行っている。埋設処分も含めて、最終処分の方法について研究している。

農地中間管理事業



補正額：313万円

農地中間管理機構を活用し、担い手へ農地集積・集約化を図り、農用地の利用効率化及び高度化を促進する事業である。取り組む地区には、地域集積協力金や集約化奨励金が交付される。

質疑のポイント

問 地域集積協力金はどのように交付されるのか。

答 一定以上の集団性のある農地を範囲として設定された地区で取り組む事業であり、その地区に対して交付されるもの。交付金の使途については、特に規定されておらず、施設の整備や参加者で分配するなど、地域の実情に合わせて活用される。

特別保育(その他)事業

補正額：276万円

県の補正予算を活用し、きょうだい同時利用や年齢に関わらず、扶養から外れている子どもを除いて、上の子どもから数えて、3人目以降の子どもに係る保育料を無償化する「第3子以降保育料無償化事業」を実施するもの。

質疑のポイント

問 3人目以降が無償化なのか。

答 そのとおりである。
ただし、扶養から外れている子どもを除いて、上の子どもから数えて、3人目以降が対象である。



庁舎照明器具LED化事業



補正額：2億600万円

蛍光灯の製造・輸出入が廃止されることを受け、黒木支所・立花支所・矢部支所の既存照明器具をLED照明に更新する工事を行い、省エネルギーの推進と環境負荷の軽減や経費削減を図る。

質疑のポイント

問 今回の補正予算の対象に上陽支所と星野支所が入っていない理由は。

答 上陽支所については、複合施設の調整を進めており、その中で、LED化に対応していく予定である。星野支所は本年度耐震診断の業務を実施しており、結果によって補強・改修が必要になる可能性があり、コストや来庁者への影響が少なくなるよう、それらの工事に併せて実施する予定である。

条例の改正

議案第53号 八女市行政組織条例の一部を改正する条例の 制定について

可 決

制定の背景・理由

社会情勢の変化に伴う多様な行政課題に柔軟に対応するため、組織機構を再構築するもの。令和8年度から始まる「第5次八女市総合計画（後期基本計画）」を円滑に遂行するため、限られた経営資源で効率的な行政運営と市民サービスのさらなる向上、市民にわかりやすい組織機構とする。

改正内容

現行の6部体制から7部体制に再編する。「未来創造戦略室」と「企画部」を統合し、「未来創造戦略部」を設置する。「建設経済部」を「産業経済部」と「建設整備部」に分割・再編する。

質疑のポイント

問 機構改革研究委員会の委員に支所長が入っていないが、問題はないのか？

答 各支所長については、人事課が事前ヒアリングを行っている。また、市長が支所長会に入り、直接、意見を聞いた上で政策や組織機構へ反映させている。

問 合併当時から、機構図における支所と本庁の関係は変わらないが、支所長と本庁の課長は同じ階級にあるにもかかわらず、現状では支所長から本庁の課長にお伺いを立てる形になっている。このことが支所職員の士気を落とし、地域住民の支所に対する諦め感を強めたのではないか。支所を含めた改革をしなければ、中山間地域の衰退を止めることはできないのでは？

答 組織図上の問題というよりも、根本的に本庁と支所の職員の意識が問題だと考える。2040年ビジョンを作成する中で、外の視点を入れて、旧町村の山間部の今後の発展をどうやっていくのか、地域の在り方を検討した上で支所の在り方をしっかり見直していく。

問 中山間政策係の役割は？

答 中山間地域特有の課題に迅速に対応し、本庁と支所の連携を強化して地域の活性化を図ることが役割である。しかし、喫緊の課題であるため、12月から中山間地域振興対策委員会を開催し、中山間地域における現状の把握と課題の共有を行い、各地域の地域振興の方針等を論議していきたい、令和8年4月の新設の係につなげていきたい。

※ その他、議案に関して多くの質疑がありました。

反対討論（牛島議員）

機構改革研究委員会の委員に支所長が入っていないため、支所長の意見がきちんと反映されたのか疑問が残る。支所長の権限を強化しなければ、支所職員の士気が上がらない。

賛成討論（川口誠二議員）

部体制を再編する行政組織条例は、議会の議決事項だが、行政組織条例を改正しなくても機構改革（課や係の再編）は市長権限で行える。今回の改正は、東部地域を含めた市全体の活性化を図るためのものであり、それに伴う機構改革については議会の議決事項ではない。今後も支所機能の問題などを念頭におきながら、行政機構の在り方の検討をお願いする。

賛成討論（田中議員）

市の課題である中山間地域振興の政策を担当する中山間政策係の設置により、本庁と支所との連携が強化され、今まで以上の中山間の振興が期待されること。また、シティプロモーション課並びに交通政策課の新設により、八女市の認知度の向上や交通体系の抜本的改善が期待されることなど、評価される点も多いことから賛成する。

賛成討論（栗原議員）

矢部村では消滅する集落も現れてきている現状で、機構改革にどう生かしていくのかが今後の課題だと思う。今後も支所に出向いて、課題を解決されることを期待する。

議案第54号 八女市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

可 決

制定の背景・理由

内閣府令の施行に伴い、市町村が参考にすべき国の基準が改正されたことを踏まえ、4つの関係条例を改正するもの。

制定内容（一部抜粋）

保育士不足解消のため、国家戦略特別区域内に限り認められていた地域限定保育士制度と趣旨を同じくする制度として「認定地方公共団体」制度が創設された。福岡県が実施する地域限定保育士試験に合格した者は、八女市においても従事することが可能となる。

反対討論（森議員）

保育士不足は、低い給与水準や劣悪な労働環境が原因であり、資格取得の規制緩和では根本的解決にならない。保育士は多面的な専門職であり、処遇改善と専門性の向上が不可欠である。また、地域限定保育士試験の判定事務の民間委託は公的保育の非営利原則に反する。

議案第62号 特別職の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

可 決

制定の背景・理由

特別職の職員の給与に関する法律の改正に伴い、特別職の期末手当について所要の改正を行うもの。なお、この改正に伴い、八女市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の規定により、議員の期末手当についても、同様の引上げとなるもの。

反対討論（森議員）

特別職の期末手当を人事院勧告に基づいて機械的に引き上げることは、市民の納得を得がたい。昭和39年の通知により、公平性を期すため第三者機関の意見を聞くべきとされている。また、地方制度調査会の答申では、特別職の報酬は職務の特殊性や責任に基づき、一般職とは異なる基準で決定すべきとされている。「お手盛り」批判を避け透明性を確保するには、他団体や一般職への準拠ではなく、妥当性に関する具体的な理由付けが不可欠だ。住民の理解を得るためには、地域経済や財政状況、活動実態を多角的に審議する「特別職報酬等審議会」を設置し、その答申を重視すべきである。八女市においても、同審議会での審議を経て給与を決定すべきである。

議案第65号 令和7年度八女市一般会計補正予算（第4号）

可 決

補正予算の内容

一般会計に10億8085万2千円を追加し、総額467億3610万4千円となる。主な内容は、物価高騰支援事業と人件費の補正である。また繰越明許費に物価高騰支援事業の7事業を追加する。

反対討論（森議員）

特別職の給与等に関する補正予算が計上されているため、反対する。

1 2 月定例会の採決結果（令和7年第5回定例会）

議案番号	議案名	採決結果
議案第53号	八女市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第54号	八女市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第55号	指定管理者の指定について（八女市地域福祉センター）	可決
議案第56号	指定管理者の指定について（八女伝統工芸館・八女手すき和紙資料館・八女観光物産館・八女民俗資料館）	可決
議案第57号	指定管理者の指定について（八女市食の健康拠点施設）	可決
議案第58号	指定管理者の指定について（八女市横町町家交流館）	可決
議案第59号	花宗用水組合規約の変更について	可決
議案第60号	令和7年度八女市一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第61号	令和7年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第62号	特別職の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第63号	八女市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第64号	八女市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第65号	令和7年度八女市一般会計補正予算（第4号）	可決
議案第66号	令和7年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第67号	令和7年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第68号	令和7年度八女市矢部診療所特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第69号	令和7年度八女市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第70号	令和7年度八女市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決

■は賛否が分かれた議案です

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ―：議長 議長は採決に加わりません	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	高橋 信広	花下 主茂	坂本 治郎	水町 典子	古賀 邦彦	久間 寿紀	原田 英雄	小山 和也	高山 正信	川口 堅志	田中 栄一	堤 康幸	石橋 義博	牛島 孝之	服部 良一	中島 信二	栗原 吉平	三角 真弓	森 茂生	栗山 徹雄	川口 誠二	橋本 正敏
議案第53号	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	欠	●	○	○	○	●	○	○	○	―
議案第54号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	―
議案第62号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	―
議案第65号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	―

傍聴者の声

傍聴者数：延べ65人

～議会を傍聴してのご意見・ご感想～
(原文のまま記載)
貴重なご意見・ご感想ありがとうございました。

○現場に走って、市民との対話を実行したり現状を見たり、私の知らないところで、頑張っていることが理解でき感動しました。申し訳ないけど、市側の答弁が儀礼的に感じました。又、傍聴にきたい、市民として来るべきだと思いました。

トピックス

八女地区総合防災訓練 (10月26日、立花運動場)

立花運動場および星野小学校で、地域住民、防災関係機関・企業・団体等、多くの方々の協力のもと実施され、各団体等の連携強化や訪れた市民の皆様の防災意識が高まりました。議員も非常時の備えの必要性を改めて確認することができました。



フルティーランド広域観光推進協議会 (11月24日、合瀬耳納公園)
事業報告会及び交流会

八女市とうきは市は、連携して豊かな自然やフルーツ、地域の魅力を発信するためにフルティーランド広域観光推進協議会を運営しています。今回は交流事業の一環として、星野村上原地区から合瀬耳納峠までの道のりを、草刈りや清掃活動を行いました。議員も一緒に汗を流しました。



二十歳の成人式 (1月11日、おりなす八女)

20歳の節目を迎える八女市在住及び出身の皆さんの門出を、お祝いしました。



市民と議会の意見交換会

意見交換会とは？

意見交換会とは、市民と議員が市の政策や課題について直接意見を交換する場です。これにより、市民の声を反映した政策立案の強化と政策提案の拡大を図ることを目的としています。八女市議会では、市民と地区別に行われるもの（※地区別意見交換会）と、分野を決めて意見交換するもの（※分野別意見交換会）があります。

意見交換会の目的と背景

今回は、各常任委員会がテーマを選定し、各団体および参加された市民の方と**分野別意見交換会**を行いました。テーマに沿って、課題や政策について市民の声を直接聞き、議員の政策立案能力を強化するための重要な機会となりました。意見交換会で出されたご意見・ご要望等の一部を紹介します。



厚生常任委員会



総務文教常任委員会



建設経済常任委員会

各常任委員会の選定テーマと意見交換をした団体

◆厚生常任委員会 （10月29日、黒木地域交流センター）

テーマ：八女市シニアクラブの現状と活性化対策について 団体：八女市シニアクラブ連合会

◆総務文教常任委員会 （11月13日、おりなす八女）

テーマ：学校教育について 団体：八女市PTA連合会

◆建設経済常任委員会 （11月20日、農業活性化センター）

テーマ：地域の農林業の課題について 団体：AFC会長会 農協青年部 八女森林組合 猟友会

各テーマでのご意見・ご要望

学校教育

学校設備（体育館のエアコンや洋式トイレ等）の整備および登下校ルートの防犯カメラ設置助成に関する要望が寄せられた。また、タブレットを活用したICT教育や個別最適化学習など、時代に沿った教育環境づくりが必要との意見が出された。その他に、子どもたちが安全に遊ぶ場所の確保や学校教職員の人手不足、危険箇所の改善要望等の意見が交わされた。

シニアクラブの会員減少

コロナ禍による会員減少が続き、その影響により役員のなり手も不足している。現行の体制では運営の維持が困難な地区もある。役員の負担を会員全員で分け合うような新たな仕組みづくりが必要である。また、フレイル予防や社会参加の場としての役割は重要であり、今後も情報発信や多世代連携、地域間の協力が継続の鍵である。

林業の担い手育成

林業従事者が減少していく中で、八女市の広大な森林を維持していくためには、新たな担い手の育成が重要である。国や県が実施する研修制度の活用や、新たな技術・スマート林業の導入は必要な取り組みであり、支援の強化を求める。

農業の事業継承

農業従事者の高齢化で解散する組織が相次ぎ、事業継承は大きな課題となっている。特に農機具のオペレーター不足が深刻で、地域農業の維持に影響が出始めている。地域計画を利用した集落営農の機能強化を進めてもらいたい。

市民団体「男女が輝くネットワークやめ」との 意見交換会

実施の背景

市民団体「男女が輝くネットワークやめ」からの申し出を受け、「八女市各分野のジェンダー平等と次世代育成」をテーマに意見交換会を開催しました。「第5次八女市男女共同参画行動計画」の内容確認と問題提起が行われ、「議会・農業・自治会・子育て支援」等について、多くの有意義な意見が交わされました。

以下、問題提起の内容の一部を紹介します。



問題提起の内容

市民 男らしさや女らしさという固定的な役割分担方式が、性別によって、こうあるべきという固定観念を生んでいる。こうした固定観念が職場や風土、制度にまで波及している現状を変えていく、意識改革が必要ではないか。

市民 教育現場、特に幼児教育の段階から、ジェンダーギャップに関する教育は、ほとんど行われていない。八女市での課題を整理し、戦略的かつ具体的に改革を実行に移す必要性を感じている。

建設経済

商店街の近代化と活性化、ワイン産業の6次産業化の成功要因について

建設経済常任委員会は、10月15日～17日に北海道小樽市と余市町を現地調査しました。

北海道小樽市 商店街の近代化・活性化の取り組み

小樽市は、物流の拠点として、にぎわった歴史があり、いくつもの商店街があります。大型複合商業施設が開業したことを機に、商店街が主体となって取り組む近代化事業や活性化事業への支援が始まりました。商店街の滞在量調査や、買物客の流動調査などに組み込まれ、現在では昔の名残りを活かした商店街など特徴的な商店街が形作られています。課題としては、個別の店舗の更新に留まり、商店街全体の連携不足などがあるとのことでした。



小樽市での
視察の様子

北海道余市町

6次産業化・ワインを核とした地域振興施策

冷涼な気候や良質な土壌といった地域資源を活かして、高品質なブドウの栽培に取り組んでいます。平成23年に構造改革特別区域法に基づき、ワイン特区に認定されたことを受けて、小規模事業者でもワイン製造に参入しやすくなりました。加工・販売を一体化させ6次産業化したワインは、地域ブランドが確立され、観光振興にもつながっています。一方で、農地の確保や後継者不足、気候変動に対応した品種転換などが課題となっているようです。

調査を終えて

商店街の振興については、既存の商業者の皆さんの声を聞きながら、どういった支援や助成が必要かを検証していく必要があると改めて感じました。また、余市町では「何よりワイン一点突破」という明確な戦略と住民の思いが成功の要因だと感じました。本市の農林業においても、伝統力を基盤に新しい商品や加工品の開発に取り組むと共に、商品に対して「誰が」「どんな思い」で作っているのかを消費者の皆さんに伝えていくことも重要な事であるように感じました。

小山 和也

総務文教

交通空白地対策と不登校支援事業の先進事例を視察

総務文教常任委員会は10月28日～30日に京都府綾部市と大阪府八尾市を視察しました。

京都府綾部市 交通空白地有償運送事業「山タク」

綾部市山家地区は、自家用車が無いと高齢者等は生活に必要な移動が難しい状況でした。そうした困りごとを地域で解決するために、地元と行政が連携し、「NPO法人山家みらい」は住民の送迎サービスを行っています。乗車方法は事前に会員登録します。運行の範囲は山家地区12町区内で、地区外への移動は他の交通機関へ乗り継ぎます。

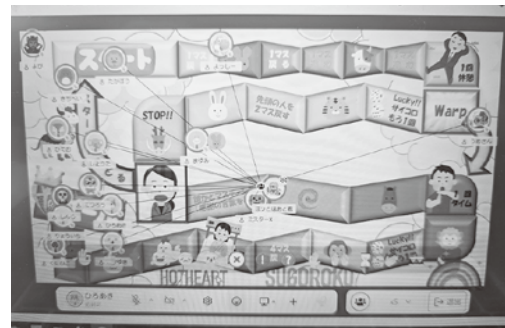
既存のバスやタクシーとの連携の必要性から、エリアを越えて、どこへでも自由に行けるというところまでは対応できないことが、今後の課題とのことでした。

大阪府八尾市

不登校支援事業(ほっとはあとサポート事業)

「誰一人取り残さない八尾の教育の実現」との方針に基づき、「①新たな不登校児童を生み出さない②学校内外の居場所づくり③どこにもつながっていない児童生徒を減らす」を対応方針とされています。具体的には、校内教育支援ルームや八尾市不登校等対策支援事業(ほっとはあとサポート事業)に取り組み、個々の状況に応じた多様な支援体制が構築されています。中学生の不登校生徒は減少傾向とのことでした。

パソコンを活用したバーチャル空間の模擬実習を体験しましたが、気軽に参加できるデジタル空間は、楽しみながら友人と学習につながる素晴らしいカリキュラムだと感心しました。



バーチャル空間での
模擬実習の様子

調査を終えて

両自治体とも固定概念にとらわれず、地域課題に熱心に挑戦し続けてある姿に感銘しました。本市にとっても重要な課題であり、解決の一助となるよう今後の議会活動に生かしてまいります。

原田 英雄

厚生

暮らしを支える現場と制度が
つながる地域を目指して

厚生常任委員会は、10月22日～24日に石川県小松市と富山県富山市、氷見市を現地調査しました。

石川県小松市 認知症を地域で支える仕組み

小松市では、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を理念に、行政・事業所・地域住民が一体となった支援体制が進んでいました。取り組みは「知る」「つながる」「支える」の三層構造で整理され、安心通報システムや位置情報サービス、認知症カフェなど、行政が支援を抱え込むのではなく、地域の中に自然と支え合いが生まれる環境ができていました。

富山県富山市 制度と現場が調和した病児保育

旧小学校跡地を活用した、富山市の「まちなか総合ケアセンター」では、お迎え型病児保育事業が実施されています。看護師と保育士がタクシーに同乗して送迎を行う体制や、医師の診断を前提とした利用の仕組みなど、安全性を確保する制度設計と現場運用が無理なく調和する形で構築されていました。制度の考え方と現場の動きが乖離せず、実際の運用につながっている点が印象的でした。

富山県氷見市 合意形成を重視した病院改革

氷見市民病院では、経営悪化を背景に公設民営化による病院改革を推進。改革にあたって、専門家や市民代表を交えた委員会を設置し、公開の場での議論と合意形成を重視し、経営面の改善だけでなく、市民への説明と理解を積み重ねてきました。そのプロセスそのものが、現在の安定した医療提供体制につながっていることが伝わってきました。



氷見市での
視察の様子

調査を終えて

各自治体の取り組みでは、行政が全てを担うのではなく、地域や現場の力が発揮される環境を整えることが意識されていました。高齢化、子育て支援、公立医療の分野は、八女市にとっても避けて通れない課題です。制度の中身だけでなく、進め方や合意形成の在り方にも目を向け、市民に寄り添った施策につなげて参ります。

花下 主茂

令和7年 行政視察の受け入れ実績

他の自治体（市町村議会や首長部局など）からの依頼により、行政視察を受け入れています。行政視察とは、地方自治体が他の先進的な自治体や関連機関へ出向き、その地域の実情や優れた施策、運営方法などを調査・研究し、自らの自治体の行政サービス向上や課題解決、政策立案に活かすための調査活動です。今回は他の自治体から注目されている八女市の事業について、ご紹介します。

視察日	議会名	視察内容
1月23日	島根県大田市議会	八女市予約型乗合タクシー「ふる里タクシー」
1月29日	埼玉県越谷市議会	おくやみワンストップサービス
5月14日	高知県南国市議会	重層的支援体制整備事業（福祉）
5月15日	徳島県阿南市議会	公共施設における太陽光発電設備導入
7月 3日	滋賀県米原市議会	農業振興（特産品のブランド戦略など）
8月21日	宮崎県都城市議会	伝統工芸を基にした地域振興
11月 6日	富山県富山市議会	遊休公共施設等の利活用促進
11月18日	長野県大町市議会	重層的支援体制整備事業（福祉）

聞いてきました！ まちの声

表紙によせて VOL.23

平成24年7.14大水害を忘れないで

やました しげとし

八女市消防団 山下 繁敏 団長



八女市消防団は旧市町村ごとに6つの支団があり、その統括を行っておられるのが、八女市消防団長の山下繁敏さんです。これまでに八女市消防団の副団長を12年、団長を10年務められています。今回は、山下団長の長年に渡る消防団活動について、お話を伺いました。

入団のきっかけを教えてください。

28歳の時に、地元消防団の部長さんに声をかけてもらったのが入団のきっかけでした。

団長として、どのような活動を行われましたか。

市町村の合併に伴い、消防団も合併し、消防団の考え方の意識統一や訓練内容の整備などに取り組みました。また、消防団と住民による地域交流訓練の普及活動をしてきました。

特に思い出に残る活動や出来事がありますか。

平成24年7.14大水害は、災害救助ヘリで住民が救助されるのを目の当たりにし、日頃の訓練の大切さを感じました。自分たちの地域で起きた災害を忘れないでほしい。

令和6年9月に開催された福岡県消防操法大会において小型ポンプ・自動車ポンプの両部門で準優勝したことも最高の思い出です。

近く退団されるとお聞きしましたが、今のお気持ちを聞かせください。

やり遂げたという思いが強いです。後継者も育っており、安心して退団ができます。団長として、10年間お世話になりました。

今後の消防団へのメッセージをお願いします。

まずは自分の家族や家を守ってから、周りの人を助ける「近助（きんじょ）」をしてもらいたい。そして、助け合いの輪を広げてほしい。

市民の方へメッセージをお願いします。

各地で大きな火災が発生しています。ご自身の安心・安全につながりますので、地域交流訓練にぜひ積極的に参加をしてください。

八女市議会にメッセージをお願いします。

一人でも多くの方に消防団活動のことを分かってほしい。また、消防団は火を消すことだけが活動ではなく、各地域の行事や活動を支えていることを知ってほしい。

編集後記

14日はバレンタインデー。菓子店の店主が、年に一度、女性から男性に愛を打ち明けていい日というキャッチコピーで、チョコレートを贈る企画を発案し、70年代に日本で定着しました。近年は、贈る対象も広がり、友達に贈る友チョコや自分へのご褒美チョコなど、愛情や感謝など様々な思いを伝える特別な日となっています。

ます。カカオ豆の主成分には、抗酸化作用や高血圧のリスク低減など、健康効果も期待されます。カレーの隠し味にチョコレートを入れても、味に深みが出て美味しくなります。われわれ議員も、このチョコレートのように、絶妙な働きによって、八女市の発展に貢献してまいります。

水町 典子

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	広報委員会	議長	発行責任者
花下主茂	坂本治郎	久間寿紀	原田英雄	小山和也	高山正信	服部良一	水町典子	古賀邦彦	橋本正敏	

議会を傍聴しませんか？

次回定例会：2月25日（水）予定

八女市役所本庁舎4階議場午前10時から
八女市議会事務局TEL: 23-4922
※日程は変更になることがあります。